



第5弾寄贈プロジェクト

児玉靖枝さんの作品を 美術館に贈りましょう

美術館にアートを贈る会は、2004年10月に発足以来、市民と美術館、アーティストの間に作品を介して、新たな関係を提案し続けています。寄贈プロジェクト第5弾は、兵庫県立美術館へ児玉靖枝さんの3作品を寄贈するプロジェクトです。

私たち市民が、美術館に積極的に関わっていき、また美術館が市民のための役割をこれまで以上に考えるきっかけになればと願っています。

■ 寄贈希望作品



landscape
1999 oil on canvas 1303×1303mm



深韻一水の系譜(霧雨)十二
2013 oil on canvas 1303×1620mm



深韻一水の系譜(霧雨)五
2013 oil on canvas 1303×1620mm

作家：児玉靖枝氏について

Yasue Kodama

日常の風景のなかに、ふと立ち現れる非日常の光景。その一瞬の出会いの感覚をどういふプロセスで定着できるのか、存在の気配を喚起させる絵画、〈まなざし〉を問う試みを真摯に続ける作家である。1961年神戸生まれ。

寄贈希望先：兵庫県立美術館について

Hyogo Prefectural Museum of Art

兵庫県立美術館（前身は1970年開館の兵庫県立近代美術館）は、近現代作品を中心に約9000点の作品を所蔵し、それらを多様な美術館活動の基盤としている。前身の近代美術館は同時代美術の収集と展示を重要な役割のひとつとしてきた美術館で、現在もその流れが続いている。

児玉靖枝氏は兵庫県立美術館では、2002年の開館記念展「未来予想図—私の人生☆劇場」、2009年「LINK—しなやかな逸脱」に出展。

■ 寄贈プロジェクトのプロセス

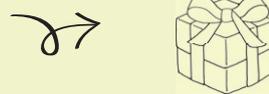
ステップ1
「考える/企画」



ステップ2
「集める/募金」



ステップ3
「贈る/寄贈」



美術館、学芸員、美術作家との独自のネットワークを活用し、具体的なプランを会員の皆さんと共に考える検討会を行います。時には美術館学芸員のプレゼンのもと寄贈作品の選定を行うなど、開かれた場で企画を立ち上げます。会員の皆さんの合意のもと、作品購入費と経費を明記した予算書を作成し、募金目標金額を設定します。

決定した内容をもとに、パンフレットを作成。インターネットなどさまざまな手段で寄贈作品購入のための寄付を募ります。関連イベントを開催し、プロジェクトの周知に努めます。寄付は予算書に従って、作品購入と経費に充てられます。目標金額に達すると、取扱いギャラリー、あるいは美術作家から作品を購入します。

購入した作品を美術館に贈る手順に入ります。美術館において作品の寄贈受け入れを審査する会議にかけられます。無事、承認を得た後、正式に美術館のコレクションとなり、当会による贈呈式を行います。寄付をした人の名前はすべて寄贈者として残ります。寄贈作品は、美術館の企画展や常設展などで展示される機会があります。

■ 児玉靖枝作品寄贈プロジェクトへご協力ください

寄贈希望先美術館：兵庫県立美術館

特典：美術館に作品を寄贈の際、目録にご協力者全員のお名前を明記します。匿名希望の方はその旨をお申し出ください。

協力方法：1口 5,000円

1口以上、お申し込み下さい。ご送金は下記までお願いします。

振込口座：三菱東京UFJ銀行
出町支店 普通 0873184
名義：美術館にアートを贈る会

ご送金後、以下の3点を事務局までお知らせください。

- 1 お名前（漢字、よみがな）
- 2 メールアドレスまたはご住所
- 3 ご協力プロジェクト名（児玉靖枝作品寄贈プロジェクト）

ご連絡先は経過報告など事務局よりのお知らせのみに使用します。

児玉靖枝作品寄贈プロジェクトの収支予定

目標募金額*

¥2,500,000（募金は作品購入とプロジェクトの告知のために使います。）

*募金—口5,000円×500口

■ クラウドファンディングによる募金活動も予定しています

*実施期間：2016年7月～10月

*詳細は当会HPをご覧ください

<http://www.art-okuru.org>



活動実績、サポート会員・メール会員の入会方法は当会ホームページをご覧ください。
www.art-okuru.org